

民事執行法の改正により入札時に
次の書面の提出が必要になりました。



暴力団員等に
該当しない旨の

陳 述 書

入札する日において発行後3か月以内の

住民票 資格証明書

(個人の場合)

(法人の場合)

宅地建物取引業の免許証のコピー

(宅地建物取引業者の場合)

※入札時に、入札書ごとに陳述書、住民票・資格証明書を提出しないと入札が無効になります。

※住民票・資格証明書は、入札する日において発行後3か月を超えるものを提出した場合は、入札が無効となります。

※記載に不備があった場合、入札が無効になることがあります。

【入札方法に関する問合せ】

東京地方裁判所民事第21部（民事執行センター）執行官室不動産部

☎03-5721-6395

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 6 月 11 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 鈴木 知 保

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 6 月 26 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 7 月 3 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 場 所 令和 7 年 7 月 9 日 午前 9 時 30 分 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 7 年 7 月 17 日 午前 11 時 00 分 東京地方裁判所民事第 21 部
特別売却 実施期間	令和 7 年 7 月 10 日 午前 9 時 20 分から 令和 7 年 7 月 14 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 6 月 11 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	20,000,000 16,000,000		4,000,000	60,513	12,966
</					

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 板橋区東新町一丁目50番地6

建物の名称 クレヴィスタ板橋ときわ台

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 東新町一丁目50番6の802

建物の名称 802

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 8階部分 22.62平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 板橋区東新町一丁目50番6

地 目 宅地

地 積 486.52平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 143197分の2543



物 件 明 細 書

令和 7 年 5 月 14 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 鈴木 知 保

1 不動産の表示

【物件番号 1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1】

賃借権

範 囲	全部
賃借人	株式会社インヴァランス
期 限	令和 11 年 4 月 25 日まで
賃 料	月額 85,878 円
賃料前払	なし
敷 金	なし
保証金	なし
特 約	転貸可

上記賃借権は最先の賃借権である。期限後の更新は買受人に対抗できる。
転借人 B が占有している。

4 物件の占有状況等に関する特記事項

なし

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号 1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tシステムのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 板橋区東新町一丁目50番地6

建物の名称 クレヴィスタ板橋ときわ台

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 東新町一丁目50番6の802

建物の名称 802

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 8階部分 22.62平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 板橋区東新町一丁目50番6

地 目 宅地

地 積 486.52平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 143197分の2543



令和7年(ケ)第 24号
令和7年 3月24日 受理
令和7年 4月18日 提出
(評価人 曾我 一郎)

現況調査報告書

東京地方裁判所
執行官 岡 克 吉

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 板橋区東新町一丁目 50 番地 6

建物の名称 クレヴィスタ板橋ときわ台

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 東新町一丁目 50 番 6 の 802

建物の名称 802

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 8 階部分 22.62 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 板橋区東新町一丁目 50 番 6

地 目 宅地

地 積 486.52 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 143197 分の 2543

(区分所有建物用1)

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	板橋区東新町1丁目50番10-802号 クレヴィスタ板橋ときわ台		
建物	物件1		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している。 ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
管理費等の状況	☒ 月額次 管理費 7,880 円 修繕積立金 1,780 円	令和7年4月3日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 令和6年4月～令和7年3月分 計 115,920 円 ☐ 遅延損害金 円 (年利 %)	
管理費等照会先	株式会社インヴァランス		
その他の事項			
敷地権	符号1		
現況地目	☒ 宅地 (符号1) ☐ 公衆用道路 (符号) ☐ (符号)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
敷地権の種類	☒ 所有権 (符号1) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある	☐ 地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 ☐ 保管開始日 平成 年 月 日	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

占有者及び占有権原 (物件1関係)			
占有範囲		■全部 ☐	■全部 ☐
占有者		株式会社インヴァランス	☐ 債務者 ■B
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ■その他 ☐ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫	☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ■居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫
関係人の陳述及び提示文書の要旨		■陳述 (賃借人会社担当者) ■文書 (■回答書 ■契約書)	■陳述 (建物入室者、賃借人会社担当者) ■文書 (■回答書 ■契約書)
占有権原		■賃借 ☐ 使用借 ☐ 転借 ☐	☐ 賃借 ☐ 使用借 ■転借 ☐
占有開始時期		平成 31 年 4 月 26 日	令和 6 年 5 月 31 日
最初の契約等	契約日	平成 31 年 3 月 20 日	令和 6 年 5 月 31 日
	期間	平成 31 年 4 月 26 日から ■令和 6 年 4 月 25 日まで 5 年間 ☐ 期間の定めなし	令和 6 年 5 月 31 日から ■令和 8 年 5 月 30 日まで 2 年間 ☐ 期間の定めなし
更新の種別		☐ 合意更新 ■自動更新 ☐ 法定更新	☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新
現在の契約等	期間	令和 6 年 4 月 26 日から ■令和 11 年 4 月 25 日まで 5 年間 ☐ 期間の定めなし	令和 年 月 日から ☐ 令和 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし
契約等当事者	貸主	■所有者 ☐ その他 ()	☐ 所有者 ■その他 (賃借人 (転貸人))
	借主	■占有者 ☐ その他 ()	■占有者 ☐ その他 ()
賃料・支払時期		毎月 金 85,878 円 (毎月 15 日限り 当月分支払) ☐ 前払 () ☐ 相殺 ()	毎月 金 76,500 円 (毎月末日限り翌月分支払) ☐ 前払 () ☐ 相殺 ()
敷金・保証金		■ない ☐ 敷金 ☐ 保証金 ☐ ある ☐ 金 円	■ない ☐ 敷金 ☐ 保証金 ☐ ある ☐ 金 円
特約等		■転貸可 ☐	
その他			・共益費 月額 20,000 円 ・本契約は電子データである電子契約書ファイルを原本としている。
執行官の意見		■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
B (転借人) 株式会社インヴァランス担当者(賃借人(転貸人)会社担当者) 債権者会社担当者	1 本件建物は、私が株式会社インヴァランスから賃借し、居宅として使用しています。 (令和7年4月10日面接聴取) 1 弊社は、本件建物を所有者から賃借し、転借人 B に転貸しています。 (令和7年4月2日電話聴取) 1 最先の抵当権設定にかかる債務者に対する融資の資金用途は投資用物件の取得資金です。 2 債務者が本件建物を賃貸することが前提になっていましたが、抵当権設定時に具体的に賃借人がいたかどうかについては把握していません。 (令和7年4月16日電話聴取)

執行官の意見

- 1 本件対象物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 物件1建物は、関係人の陳述及び提出された回答書等から、株式会社インヴァランスが所有者から賃借しこれを転借人Bに転貸しているものとする。
- 3 物件1建物の占有状況は、関係人の陳述、転借人Bあて郵便物の存在及び提出された回答書等の内容並びに現場の状況から、2枚目及び3枚目記載のとおり報告する。

以 上

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年3月28日 : - :	当庁 (郵便)	■所有者に対し、照会書送付
令和7年3月28日 11:10-11:30	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 □図面作成 ■居住者に対し、通知書・照会書差置き
令和7年4月2日 : - :	当庁 (ファックス・ 電話・郵便)	■管理費に関する調査 ■賃借人 (転貸人) 会社担当者に 電話聴取 ■賃借人 (転貸人) 会社に 照会書送付
令和7年4月8日 13:50-14:10	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■図面作成 ■評価人を同行
令和7年4月10日 9:30-9:50	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■図面作成 ■評価人を同行 ■転借人に 面接聴取
令和7年4月16日 : - :	当庁 (電話)	■債権者会社担当者に 電話聴取
令和 年 月 日 : - :		
令和 年 月 日 : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ■ 令和7年4月8日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 C を立ち会わせ、技術者に建物の解錠に着手させた が、解錠することができなかった。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 (写真 3点添付)		

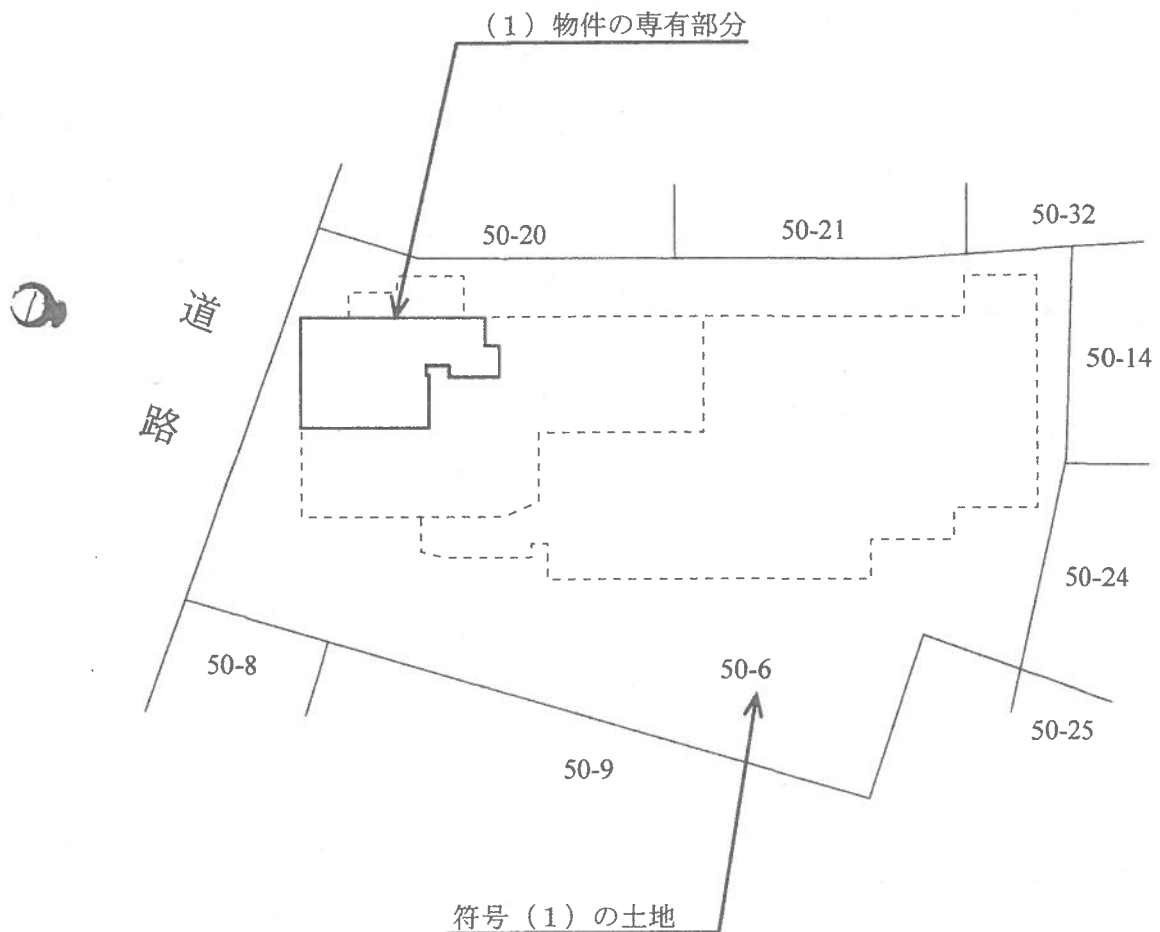
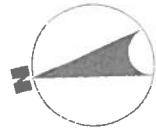
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(6 枚目)

土地建物位置関係図

令和7年(ケ)第24号

建物の存する部分 8階

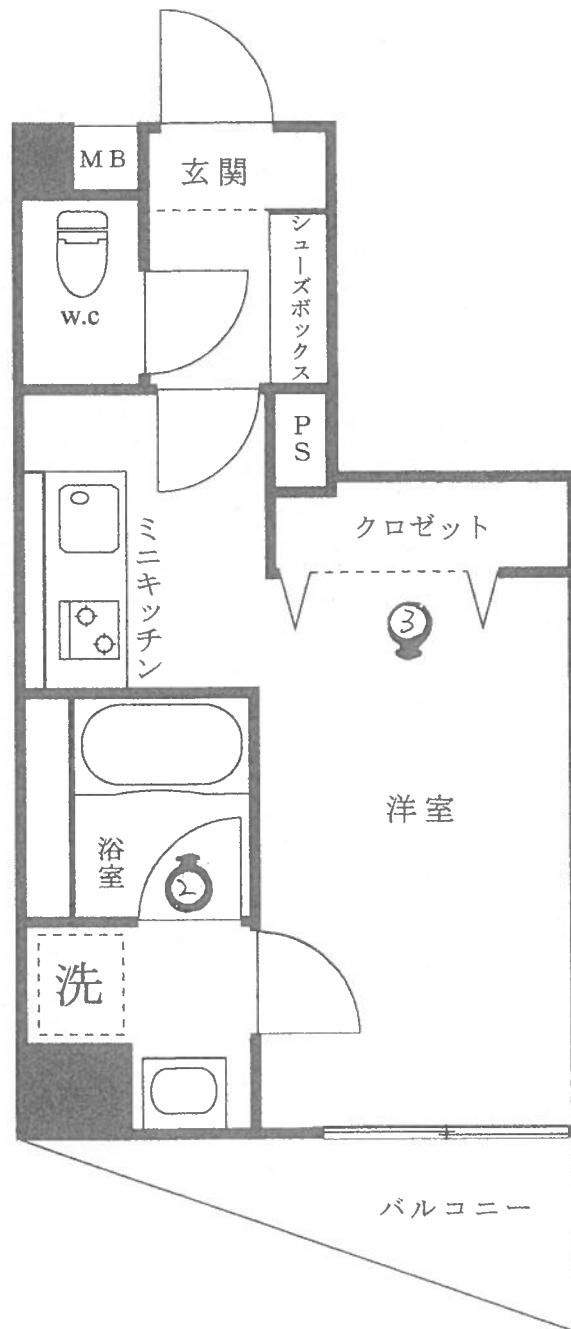
建物の名称 802



◀○: 写真撮影位置と方向

建物間取図

令和7年(ケ)第24号



◀○: 写真撮影位置と方向

物件 / の建物

1



2



3



令和 7 年 (ケ) 第 2 4 号
令和 7 年 4 月 1 0 日 現 地 調 査
令和 7 年 4 月 2 2 日 評 価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評 価 人 曾 我 一 郎

第1 評価額

物件番号	評 価 額
1	金 20,000,000円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		(住居表示) 板橋区東新町1-50-10 (マンション名, 部屋番号) クレヴィスタ板橋ときわ台, 802号室
番号	特 記 事 項		
	特になし		

* 現況欄に記載のない事項については, 登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 板橋区東新町一丁目 50 番地 6

建物の名称 クレヴィスタ板橋ときわ台

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 東新町一丁目 50 番 6 の 802

建物の名称 802

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 8 階部分 22.62 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 板橋区東新町一丁目 50 番 6

地 目 宅地

地 積 486.52 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 143197 分の 2543

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通	東武東上線「ときわ台」駅南口より南西方道路距離約 550m(徒歩約 7 分), バス停留所「ときわ台駅入口」より北西方道路距離約 160m(徒歩約 2 分), 板橋区東新町一丁目 50 番街区に位置する(附属資料「位置図」参照)。		
付 近 の 状 況	川越街道沿いにマンション, 事業所等が建ち並ぶ路線商業地域。		
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない 一般的な規制)	区 分 境 界	北東側国道254号線 道路端より30m以内	北東側国道254号線 道路端より30m超
	都市計画区分	市街化区域	市街化区域
	用 途 地 域	近隣商業地域	第一種中高層住居専 用地域
	建 蔽 率	80%	60%
	容 積 率	300%	200%
防 火 規 制	防火地域	準防火地域	
	その他の規制	最高限高度35m最低 限高度7m第三種高 度地区, 板橋区国道 254号線(川越街道) A地区沿道地区計画 (地区区分イ)	最高限高度22m第二 種高度地区
	日影規制区域, 最低敷地面積60㎡, 宅地造成等工事規制区域, 板橋区景観計画区域(一般地域)		
画 地 条 件	地 積	486.52㎡(土地の符号1)	
	形 状	ほぼ整形	
	間 口 ・ 奥 行	間口約15m, 奥行約30m	
	地 勢	前面道路とほぼ等高, 地勢は平坦	
	そ の 他	特になし	
接面道路状況等	北東側幅員約25m国道(建築基準法第42条1項1号, 特定緊急輸送道路)に接する中間画地。		

土地の利用状況等	物件1を含む一棟の建物敷地として利用している。建物の配置は、附属資料「建物図面・各階平面図写」のとおり。	
供給処理施設	上水道 都市ガス 下水道	あり あり あり ※敷地内までの引き込みを基準に、引き込みがある場合を「あり」、無い場合を「なし」とした。
敷地権の表示	敷地権の種類 敷地権の割合	所有権(土地の符号1) 143197分の2543(土地の符号1)
特記事項	特になし	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マ ン シ ョ ン 名	クレヴィスタ板橋ときわ台	
建 物 の 用 途	共同住宅(総戸数 56 戸)	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載) 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	平成 31 年 1 月 11 日新築 約 6 年 約 44 年
構 造 ・ 延 床 面 積	鉄筋コンクリート造陸屋根 10 階建 延床面積 1,726.87 m ²	
仕 様	外 壁 そ の 他	タイル貼, コンクリート打放し, 天然石等 タイル貼, 天然石, ボード等
設 備 等	集合郵便受, 宅配ボックス, オートロック, エレベーター等	
建 物 の 品 等	普通	
管 理 の 形 態 等	管 理 組 合 管 理 会 社 管 理 形 態	クレヴィスタ板橋ときわ台管理組合 株式会社インヴァランス 管理会社による管理
管 理 の 状 況	普通	
特 記 事 項	特になし。	

(2) 専有部分の概要

構 造 ・ 種 類	鉄筋コンクリート造 1 階建・居宅	
位 置	8 階(802 号室) 主要開口部の方位:北	
床 面 積	専 有 面 積	22.62 m ²
	共用部分を含む現況床面積	30.43 m ²
間 取 り	1R	
バルコニー等	北向きあり	
仕 様	天 井 床 内 壁 設 備 そ の 他	ビニールクロス貼等 フローリング等 ビニールクロス貼等 浴室, トイレ, キッチン なし
保守管理の状態	普通	
管 理 費 等	管 理 費	7,880 円(月額) (令和 7 年 4 月 3 日現在, 以下同じ)
	修 繕 積 立 金	1,780 円(月額)
	滞 納 額	115,920 円
	遅 延 損 害 金	
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	占有者が次の転借権により居宅として使用, 占有している。 (1) 賃貸借契約の内容は次の通りである。 占有権原: 賃借権 占有開始: 平成 31 年 4 月 26 日 契約期間: 令和 6 年 4 月 26 日から令和 11 年 4 月 25 日まで 月額賃料: 85,878 円 敷金: ない (2) 転借契約の内容は次の通りである。 占有権原: 転借権 占有開始: 令和 6 年 5 月 31 日 契約期間: 令和 6 年 5 月 31 日から令和 8 年 5 月 30 日まで 月額賃料: 76,500 円 共益費月額: 20,000 円 敷 金: ない	
特 記 事 項	特になし	

第5 評価額算出の過程

本件は都市型の区分所有建物であり、買受人が投資用不動産として保有することも社会的・経済的観点から合理的と判断されるので、積算価格と収益価格を求めて、これらを調整して得た価格に基づき、競売市場を前提とした評価額を下記のとおり決定した。

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて下記のとおり建物価格を求めた。

再調達原価（円/㎡） ア	現況床面積（㎡） イ	現価率 ウ	建物価格（円） エ
452,000	× 30.43	× 0.70	= 9,630,000

ア 再調達原価：一棟の建物の平均単価

イ 現況床面積：固定資産関係証明書記載の現況床面積(共用部分を含む)を採用。

ウ 現価率：

- ・経過年数約6年，経済的残存耐用年数約44年，観察減価率20%(保守管理の状況を考慮した)
- ・耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用し，現価率を下記のとおり査定した。

現価率：経済的残存耐用年数÷(経過年数+経済的残存耐用年数)×(1－観察減価率)

現価率 = 44年÷(6年+44年)×(1－0.20)=0.70 (小数第3位を四捨五入)

エ 建物価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

② 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

更 地 価 格		地 積 (㎡)	建 付 減 価	敷地権の割合	敷地権価格 (円)
標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ				
887,000	× 1.20	× 486.52	× 1.0	× 2543/143197	= 9,200,000

ア 標準画地価格: 下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。

なお、標準画地は、近隣地域において、土地の概況(間口、奥行、規模等)が標準的な中間画地を想定した。

地価公示 板橋 5-7

(公示価格等) (時点修正) (標準化補正) (地域格差) (規準価格)
 $741,000 \text{ 円/㎡} \times 103/100 \times 100/100 \times 100/86 = 887,000 \text{ 円/㎡}$
 (上三桁未満四捨五入)

時 点 修 正: 令和 7 年 1 月 1 日から評価日までの推定変動率

標準化補正: 必要なし

地 域 格 差: 公示地等の所在地域は対象地域と比較して、地域要因等はやや劣っている。

イ 個 別 格 差: 形状±0%, 希少なマンション適地+20%, 計+20% (1.20)と判定した。

ウ 地 積: 土地の符号 1 の登記数量による。

エ 建 付 減 価: 建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

オ 敷地権の割合: 土地の符号 1 の登記記載の敷地権の割合による。

カ 敷地権価格: 1 万円未満四捨五入の端数整理を行った。

2 積算価格(敷地権付建物の価格)

建物価格 (円) ア	敷地権価格 (円) イ	価格補正 ウ	個別格差 エ	占有減価 修正 オ	積算価格 (円) カ
(9,630,000	+ 9,200,000)	× 1.20	× 1.10	× 1.00	= 24,860,000

ア 建 物 価 格: 前記 1 ①エ

イ 敷 地 権 価 格: 前記 1 ②カ

ウ 価 格 補 正: 同一マンション並びに周辺類似のマンション取引水準等を斟酌して補正した。

エ 個 別 格 差: 階層別補正…1.05(対象 8 階) 位置別等修正…1.05(北向き角住戸)

その他…1.00(特になし)

相乗積 $1.05 \times 1.05 \times 1.00 = 1.10$ (小数第 3 位を四捨五入)

オ 占有減価修正: 必要なし

カ 積 算 価 格: 1 万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅱ 収益価格の試算(DCF法による)

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される有効純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法(Discounted Cash Flow 法)による収益価格を以下のとおり求めた。

《DCF法による価格査定表》

3年間の 有効純収益 現価の合計	正味復帰価格の現価					DCF法による価格
	4年目の 有効純収益	最終 還元 利回り	3年目期末 復帰価格※1	複利 現価率 ※2	正味復帰 価格の現価	
			$イ \div ウ \times (1 - 0.03)$	(3.5%)	$エ \times オ$	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア+カ=キ キ
2,619,552 円 (10.4%)	927,780 円	3.6%	24,998,517 円	0.9019	22,546,162 円 (89.6%)	=25,170,000 円 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格(イ÷ウ)の3%と査定した。

※2 複利現価率の計算式

$$1 \div (1 + 3.5\%)^3 = 0.9019 \text{ (小数第5位を四捨五入)}$$

ア 3年間の有効純収益現価の合計:目的物件を賃貸することにより保有期間中(第1期～第3期)に得られるであろうと予測した各期の有効純収益を、複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ 4年目の有効純収益:保有期間終了後(4年目)の有効純収益である。

ウ 最終還元利回り:4年目の有効純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスク等を考慮して査定した。

エ 3年目期末復帰価格:4年目の有効純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額等を控除した価格である。

オ 複利現価率:一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ 正味復帰価格現価:保有期間終了後に得られる正味復帰価格の現在価値である。

キ 収益価格:保有期間中に得られる有効純収益の現在価値と保有期間終了後の売却予測価格の現在価値の合計額で、1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅲ 評価額の判定

1 試算価格の調整

積算価格及び収益価格を下記のとおり試算した。

本件においては、周辺地域における類似規模の類似マンション等の売買事例・売り希望事例等を総合的に考慮して、下記の通り、積算価格と収益価格を均等に考慮して、端数処理の上、調整後の価格とした。

① 積 算 価 格	24,860,000 円
② 収 益 価 格	25,170,000 円
③ 調整後の価格	25,000,000 円

2 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額並びにその他の控除(敷金等)を考慮して評価額を決定した。

調 整 後 の 価 格 (円) ア	市 場 性 修 正 イ	競売市場 修 正 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 (円) オ	評 価 額 (円) カ
25,000,000	×1.00	×0.80	×1.00		= 20,000,000

ア 調整後の価格: 積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正: 必要なし

ウ 競売市場修正: 「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価: 滞納管理費等及び代金納付に至る間の管理費等の予想滞納相当額を考慮した減価。本件の場合は、競売市場修正に含めて考慮した。

オ その他の控除(敷金等): 買受人の引受けとなる敷金等の預り金の控除。本件の場合なし。

カ 評価額: 1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

第6 参考価格資料

地価公示価格（板橋 5-7）

所 在：板橋区上板橋一丁目 4753 番 8

住 居 表 示：上板橋 1-21-4

価 格：741,000 円/㎡

位 置：東武東上線「上板橋」駅より道路距離約 270m

価 格 時 点：令和 7 年 1 月 1 日

地 積：74 ㎡

供給処理施設：水道・ガス・下水

接 面 街 路：南西側幅員約 8m 区道に接する中間画地

用 途 指 定 等：近隣商業地域（建蔽率 80%，容積率 300%），準防火地域

地 域 の 概 要：中高層店舗兼共同住宅等が建ち並ぶ商業地域

第7 附属資料

位置図

公図写

建物図面・各階平面図写（法務局備付の A3 を A4 へ縮小したもの）

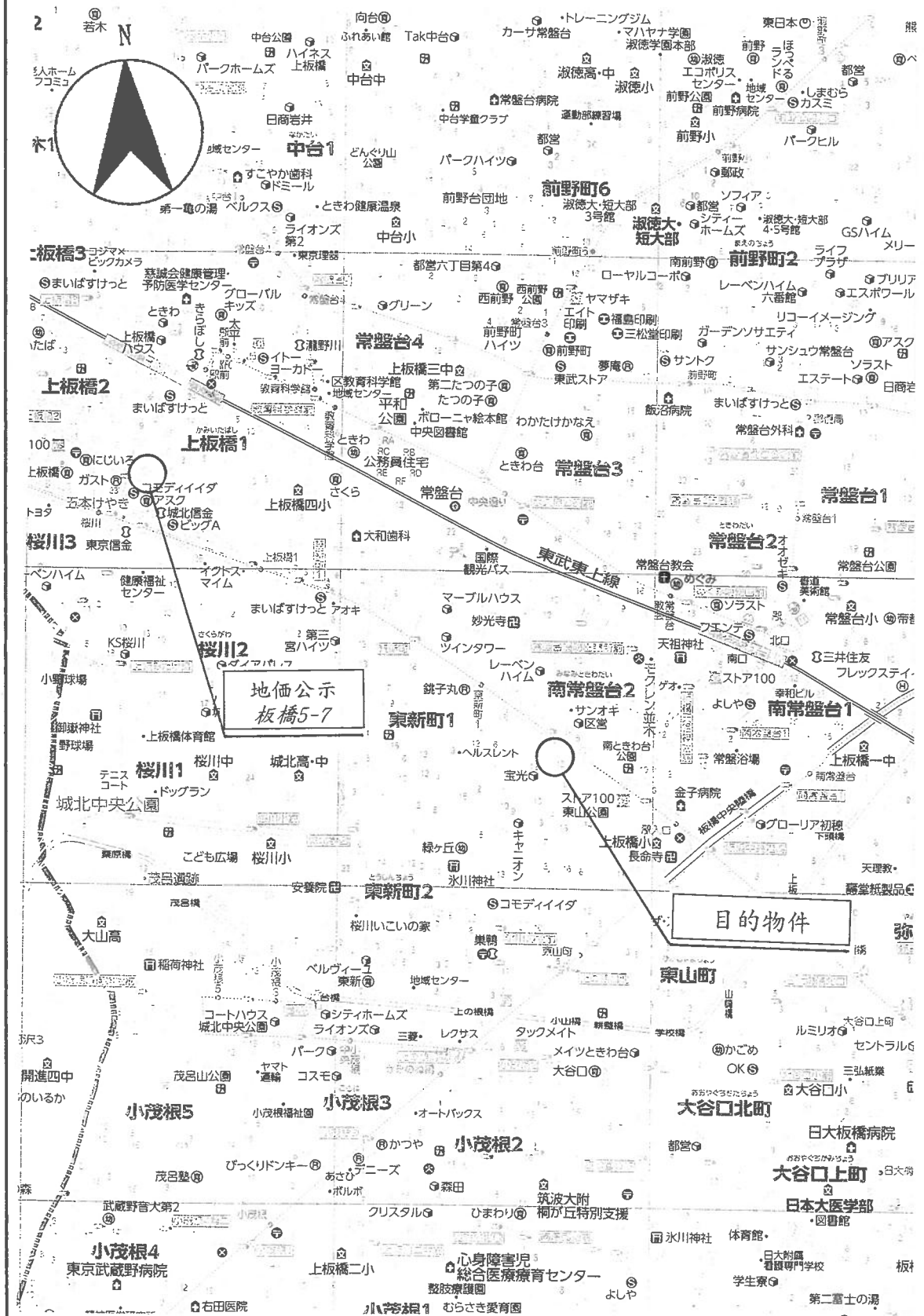
以 上

令和7年4月22日

評価人 不動産鑑定士

曾我 一郎

位置図



公 図 写



1 : 600

登記年月日：平成31年1月11日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(東京法務局板橋出張所管轄)

令和7年1月9日

東京法務局豊島出張所

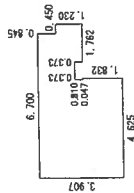
登記官

各階平面図

建物図面図

家屋番号
東新町一丁目
50番6の802

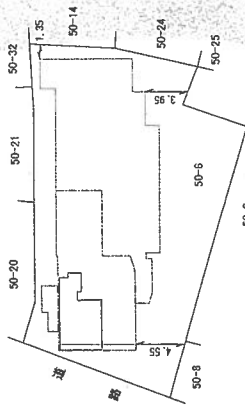
建物の所在
板橋区東新町一丁目50番地6



求積表

4.578 x 3.907	=	17.886246
0.810 x 1.702	=	1.378620
0.047 x 1.832	=	0.086104
1.312 x 2.075	=	2.722400
0.450 x 1.230	=	0.553500
計		22.626870

床面積 22.62 m²



建物の存する部分 8階

建物の名称 802

作成者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500